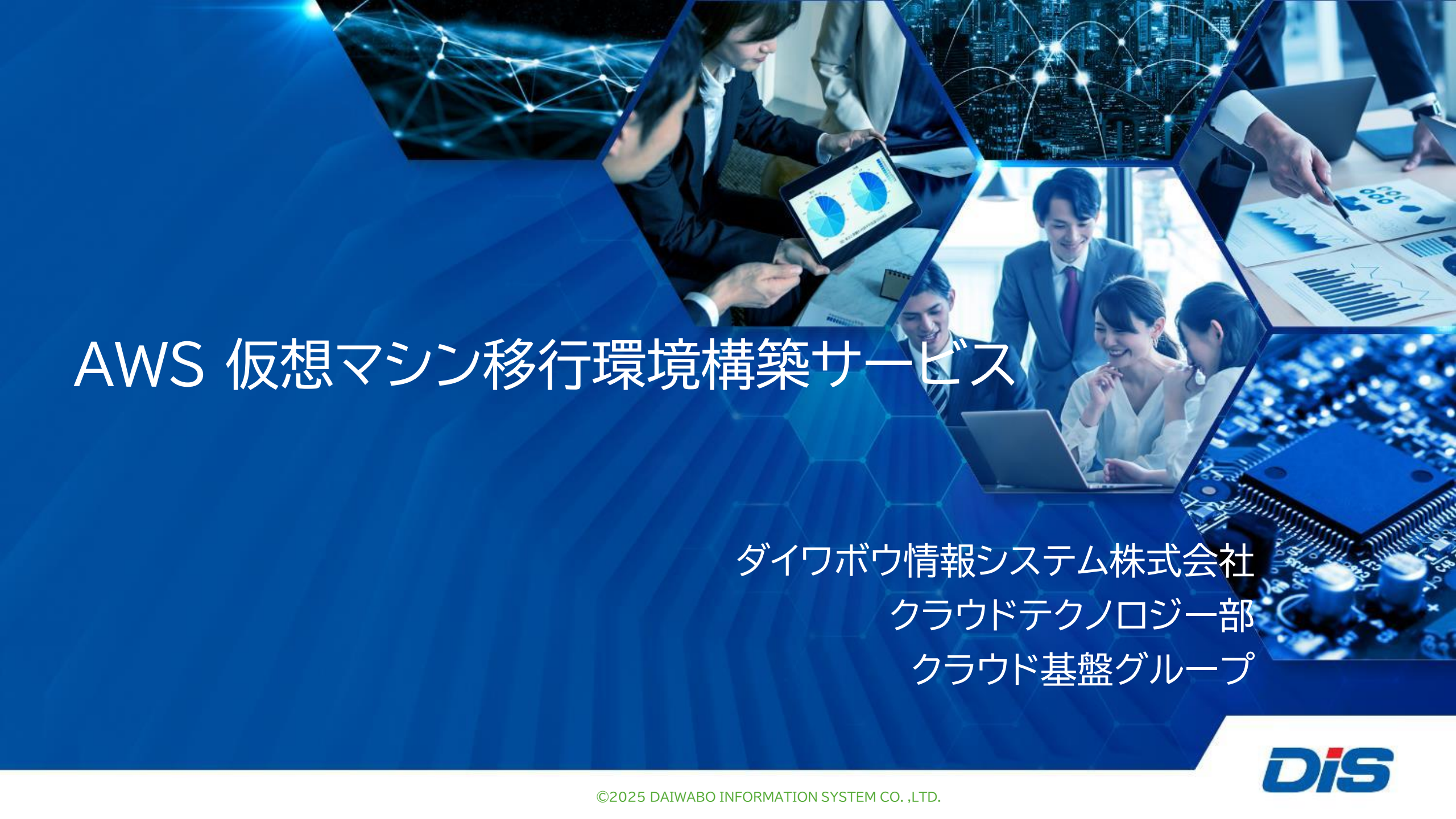




AWS 仮想マシン移行環境構築サービス

ダイワボウ情報システム株式会社
クラウドテクノロジー部
クラウド基盤グループ



AWS 仮想マシン移行環境構築サービスとは？

- AWSクラウドのインフラ環境と移行アプリケーションであるAWS Application Migration Service(MGN)を構築し、オンプレミスの仮想マシンをAWSに移行できるようにするまでをご支援するサービスになります。
※本番仮想マシンの移行はお客様にて実施いただきます。
- 弊社エンジニアが設計フェーズからAWS MGNの使用方法のレクチャーまでご支援致します。



オンプレミスからAWSに仮想マシンを移行したいが、構築経験が無いいため環境を作成してほしい



便利なサービスを使って仮想マシンの移行を手早く簡単にストレスフリーで行いたい



オンプレミスからAWSへの仮想マシンの移行手順を教えてください

基本メニュー



Amazon VPC
(ネットワーク)

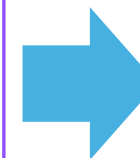
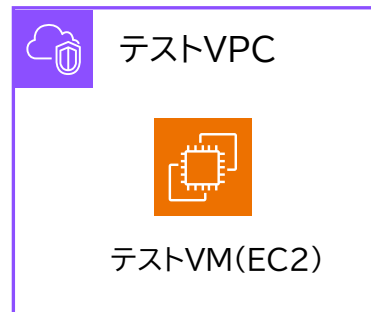


Application
Migration
Service(MGN)



AWS Backup

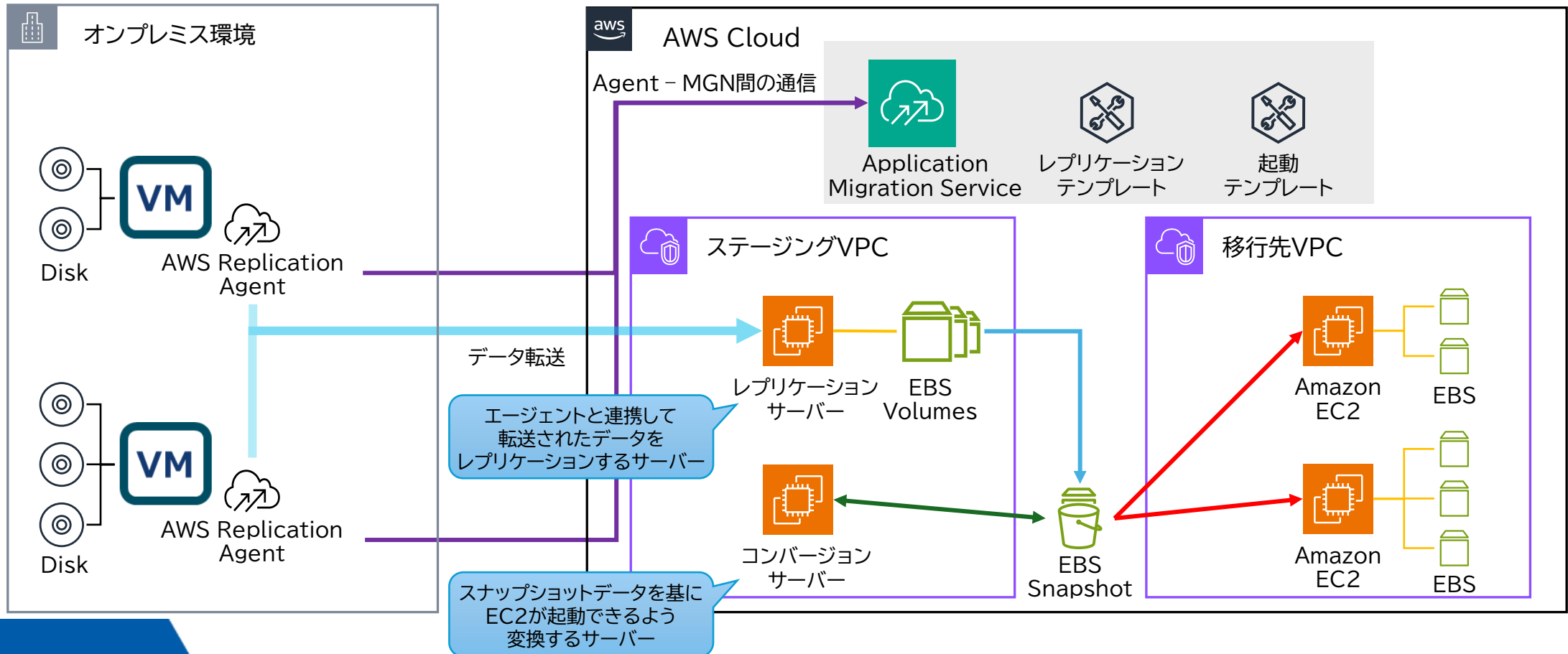
移行できるまでの環境を構築



実機を用いた移行フローのレクチャーを実施

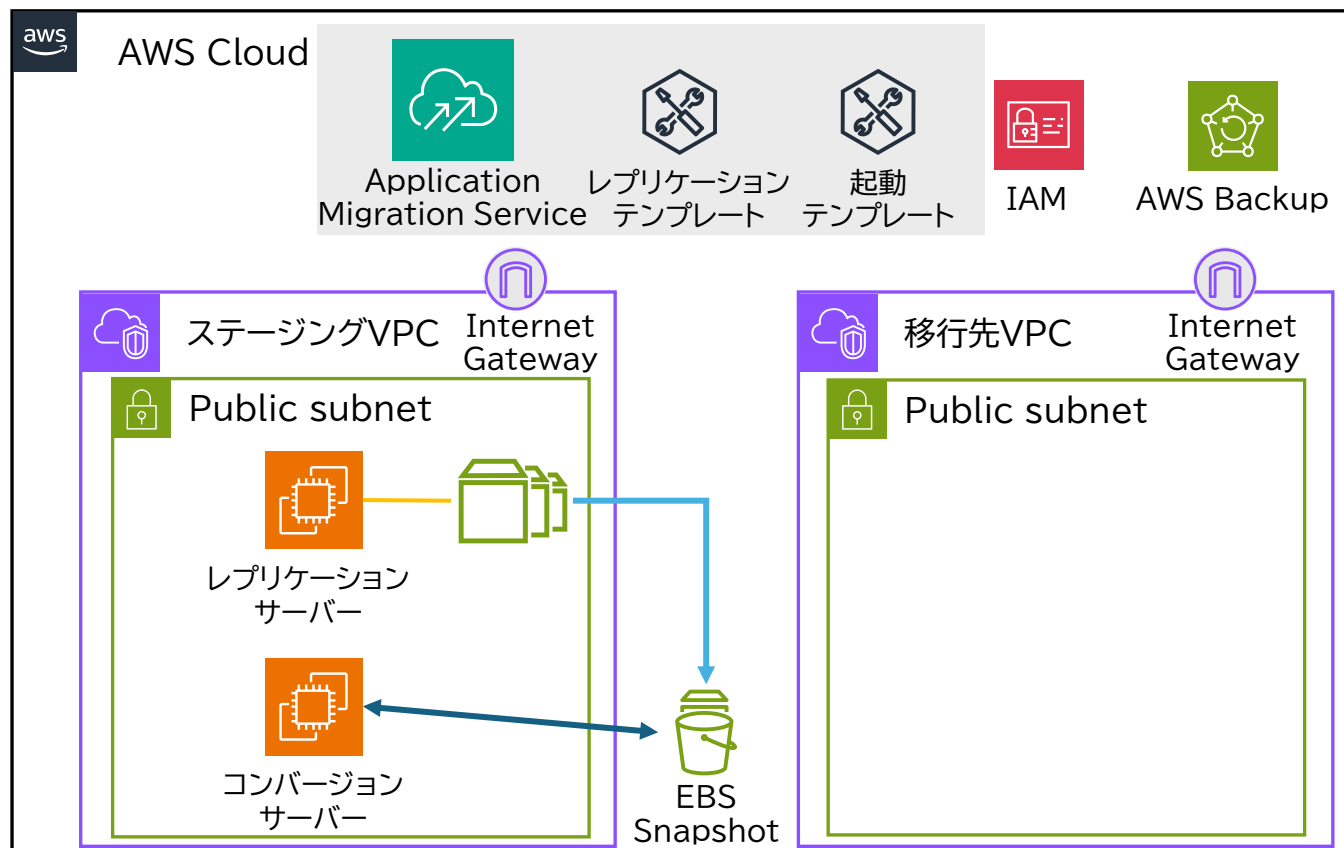
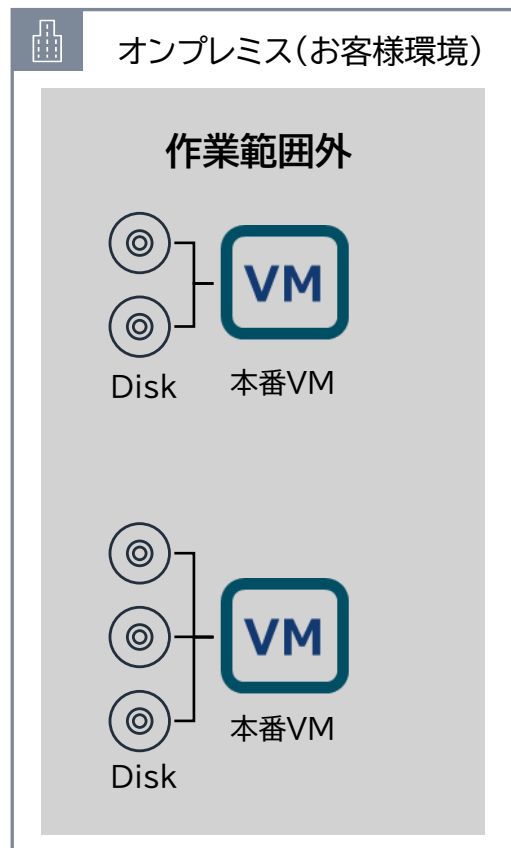
AWS Application Migration Service(MGN)とは？

- AWSが提供するアプリケーション移行サービスです。Windows及びLinux OSで実行される仮想マシンをAWSへ移行することが可能です。
- AWS MGNを利用することで、AWSへの移行を簡素化、迅速化することができ、移行コストを削減できます。
- 弊社オリジナルの操作手順書をベースに、簡単に操作が可能です。



設定範囲について

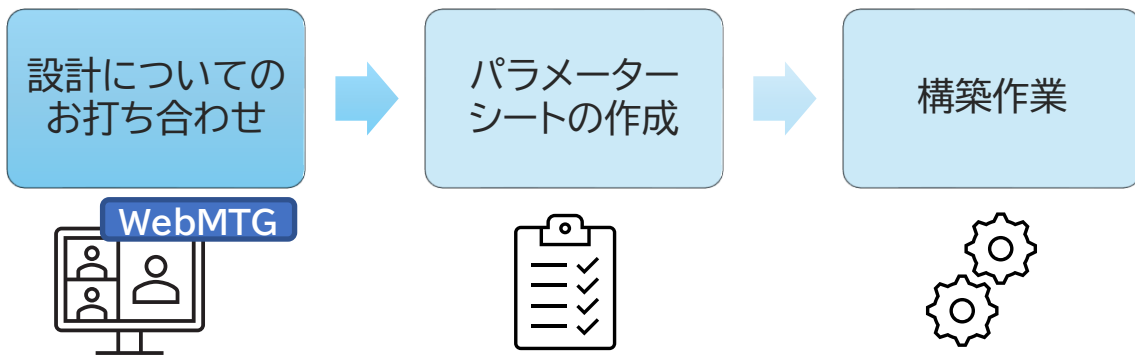
- AWSクラウドに仮想ネットワークを構築し、パブリックサブネットとインターネットゲートウェイを1つ作成致します。
 - 移行先EC2のセキュリティグループ設定やバックアップのスケジュール設定を作成致します。
 - AWS MGNの初期セットアップ(レプリケーション及び起動テンプレートの設定)を実施致します。
- ※オンプレミス環境(エージェントのインストール含む)は作業範囲外となりますのでご了承ください。



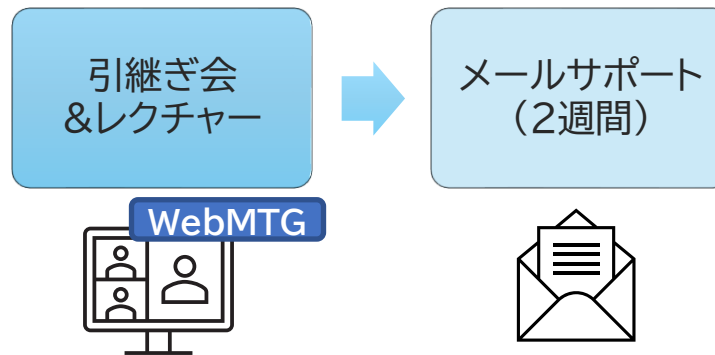
サービスの進め方について

- AWSに馴染みの薄い方にも安心して導入頂けるように、お打ち合わせをベースに進めさせていただきます。
- 設計についてのお打ち合わせの前に、弊社指定のヒアリングシートにご記入頂く必要がございます。
- AWS環境の引継ぎ会では、MGNを用いた仮想マシンの移行手順についてレクチャー致します。(2時間程度)
- メールサポートでは、構築環境及びMGNの使用方法に関するご相談をメールにてサポート致します。(平日9-17時)
- クロージングMTGでは、改めて構築環境やMGNに関する質疑応答と納品物のご紹介を致します。(1時間程度)

設計・構築フェーズ



PoCフェーズ



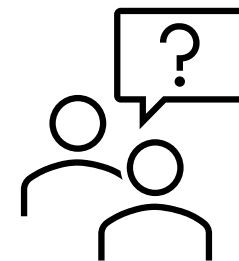
納品フェーズ



AWSサポートセンター(技術サポート)のご利用で、構築後もずっと安心です！

AWSサポートセンターでは、電話、チャット、Eメールを使って、クラウドサポートエンジニアに24時間、年中無休で問い合わせることができます。

※「ビジネス」以上のサポートプランをご契約ください！



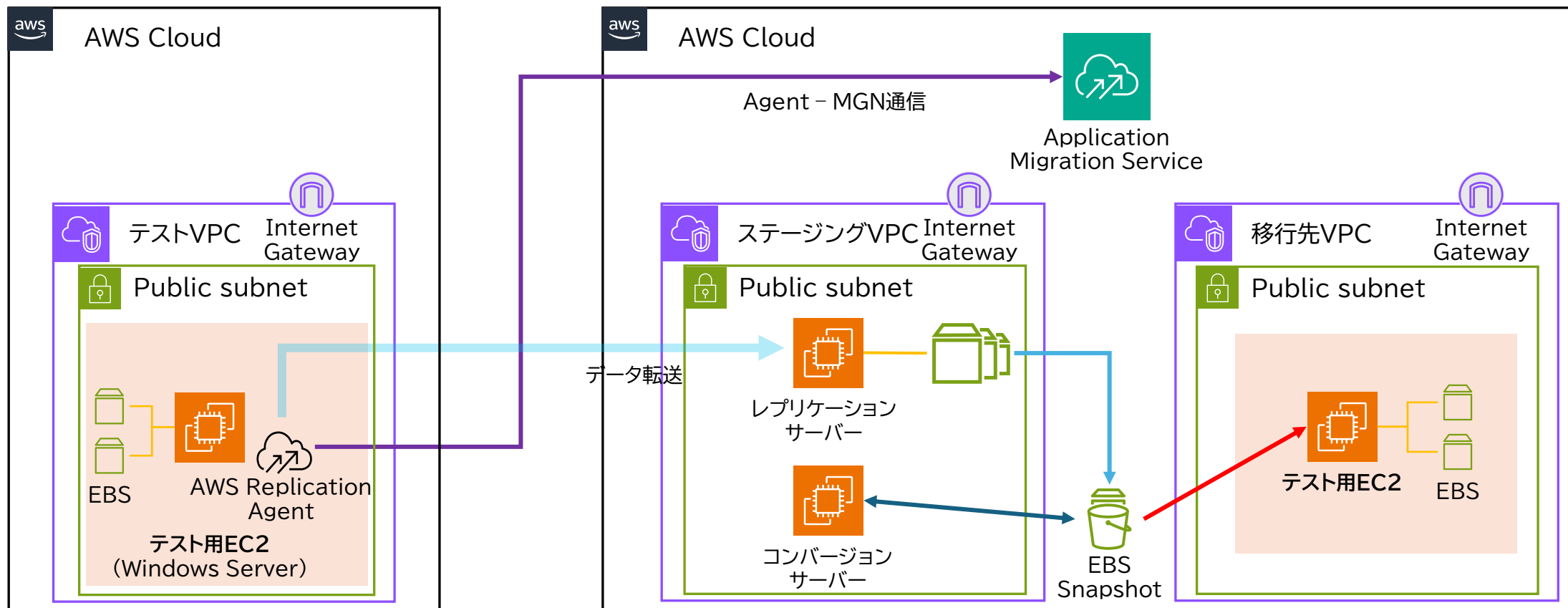
設定範囲および価格について

作業内容	対象サービス	詳細	標準単価(税別)
アカウント作成	AWS IAM	管理用アカウントの作成	個別相談
仮想ネットワークの作成	Amazon VPC	パブリックサブネット(1つ)、インターネットゲートウェイ、セキュリティグループの設定	
マイグレーションサービスの構築	AWS MGN	ステージングVPCの作成、移行用IAMユーザー作成、レプリケーション&起動テンプレート設定	
バックアップ	AWS Backup	EC2に対するバックアップのスケジュール設定	
構築前のAWS設計支援	設計支援	ヒアリングシートに基づくお打ち合わせ(Web会議3回まで)	
AWS環境引継ぎ会&レクチャー	環境引継ぎ会&レクチャー	構築したAWS環境の説明及びMGNの使用方法レクチャー (Web会議)	
PoCフェーズ中のメールサポート	メールサポート	2週間のメールサポート(平日9時-17時、ベストエフォート対応)	
クロージングMTG	クロージングMTG	構築環境やAWS MGNIに関する質疑応答(Web会議)	
ドキュメントの共有	ドキュメント	詳細設計書、試験計画書兼報告書	

※メニュー範囲外の構築に関しましては、個別にお見積りさせていただきますので、別途ご相談ください。

AWS環境引継ぎ会&レクチャーについて

- AWS環境を引き継ぐ際に、MGNの使用方法に関してレクチャーさせていただきます。
- レクチャー内容は、“移行対象のEC2にエージェントをインストールし、移行先VPC上にEC2を移行するまで”となります。
- 移行のオペレーションは弊社にて実施致します。手順についてご不明点等ございましたらお声がけください。
- 弊社オリジナルの操作手順書と併せてご確認いただけます。

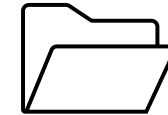
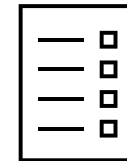
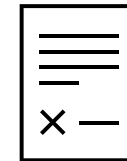
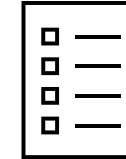


納品ドキュメントと操作手順書(付録)

- 納品ドキュメント

- ・ 詳細設計書(パラメータシートのとりまとめ)
- ・ 試験計画書兼報告書

※弊社フォーマットでのデータ提供となります。



- 操作手順書(付録)

- ・ MGNを用いた仮想マシン移行の操作手順及び各種操作手順書

※上記の操作手順書を付録(無償)としてお渡し致します。

弊社のAWS環境をベースとした操作手順書となります為、お客様のAWS画面とは異なります。
個別のカスタマイズは実施することはできません。

サービスに関する注意事項 ※必ずお読みください

● オンプレミス環境(お客様環境)

- TCP 443(移行エージェントとAWS間の通信)とTCP 1500番(AWSへのデータ転送)のポートを解放いただく必要がございます。

※ 443番の通信に関しましてはファイアウォールおよびプロキシサーバーなどで、URLフィルタリングがされている場合、
以下サイトに記載のURLを許可して頂きますようお願い致します。

<https://docs.aws.amazon.com/mgn/latest/ug/Network-Requirements.html#TCP-443>

・Network requirements

- vSphere環境から移行する場合、VMware Toolsのアンインストールは手動で実施する必要があります。
- 移行するサーバーのOSがMGNのサポート対象か事前に次のURLにてご確認ください。

<https://docs.aws.amazon.com/mgn/latest/ug/Supported-Operating-Systems.html>

・Supported operating systems

- 移行するサーバーにエージェントをインストール後、常にデータ同期を行うため、移行が完了するまではサーバーを停止させることはできません。

● 移行エージェントのインストール要件

- 移行エージェントをインストールするために、移行対象サーバーが満たすべき要件があります。主な要件は次の通りです。

- ・ ディスク空き容量

- Windows: 「Program Files(x86)」ディレクトリを含むディスクに2GB以上

- Linux: ルートディレクトリに2GB以上、および、/tmpディレクトリに500MB以上

- ・ メモリ空き容量: 300MB以上(Windows,Linux共通)

インストール要件全体については、次のURLにてご確認ください。

<https://docs.aws.amazon.com/mgn/latest/ug/installation-requirements.html>



サービスに関する注意事項 ※必ずお読みください

● ステージングVPC環境

- 移行時に起動するレプリケーション・コンバージョンサーバーに関しては別途、インスタンス料金が発生します。
- 移行先VPCに影響が無い範囲でCIDR範囲は決めさせていただきます。
- 移行完了後、ステージング環境は削除頂いても問題ございません。

※ 削除手順に関しましては操作手順書を参照ください。

● 移行先VPC環境

- テスト・カットオーバーインスタンスの展開後、各インスタンスへの接続には、踏み台やVPN、パブリックIPなどの接続環境が別途、必要になります。
- AWSへ移行後、サーバー内のネットワーク設定が自動で再設定されるため、ADなど、サーバー間で連携しているシステムの場合は注意が必要になります。
- テストインスタンスでの動作確認が完了後、テストインスタンスからカットオーバーインスタンスにデータを移行することはできません。



サービスに関する注意事項 ※必ずお読みください

● AWS MGNでの移行に関して

- 本サービスでは本番環境の移行は実施致しません。
- AWS上で稼働させるサーバーのインスタンスタイプの指定に関しましては、以下の通りとさせていただきます。
 1. DIS提供のアセスメントサービス*1のご利用の場合
インスタンスタイプ自動設定機能を無効に致します。
提供されたレポートを基にお客様にてインスタンスタイプを変更ください。

*1 <https://www.idaten.ne.jp/portal/page/out/mss/aws/ola.html>

2. 「1.」を利用していない場合
インスタンスタイプ自動設定機能を有効に致します。
サービスが最適なインスタンスタイプを決定します。

※移行後にインスタンスタイプを変更することも可能です。

- 移行対象が複数台ある場合、ネットワーク帯域に関してはご注意ください。
- BYOLでのサーバー移行に関しては占有ホストでの起動になります。

※ライセンスなどに関しましてはソフトウェアベンダーへお問い合わせください。

- AWS上で稼働させるサーバーのストレージタイプに関しては汎用SSD(gp2)となります。



前提条件 ※必ずお読みください

- 本サービスはDISのAWSサービス契約を締結しているお客様が対象です。
- 本サービスはオンプレミス上のお客様の仮想マシンをAWSへ移行する際の支援サービスとなります。仮想マシンの移行作業はサービスに含まれておりませんのでご了承ください。
- 本サービス以外の追加要件(構築やドキュメントの追加)に関しましては対応致しかねます。また設定範囲はヒアリングシートの項目のみ対応いたします。
- 以下の作業については対応不可となります。
プロジェクト管理、設計全般、データ移行、OS/ミドルウェア/アプリケーションのインストール
- フルアクセス権限を持つ作業用のアカウントを1つ払い出して頂きます。
- 設定作業は平日日中帯(すべてリモートにて実施)を前提としております。
- 構築後における試験は構築した範囲を限定に実施いたします。
- 作業期間中にAWS側の機能拡張/設定パラメータ変更などが発生する可能性もございます。
- AWS側のサービス障害などにより弊社側作業の実施が難しい状況が起きた場合、各種スケジュールを変更させて頂く可能性もございます事をご了承ください。
- メールサポート終了後のAWSに関する技術的なご相談やトラブルはメーカー窓口(AWS技術サポート)へお問い合わせください。



さわって理解するAWSハンズオン基礎講座について

さわって理解するAWSハンズオン基礎講座(仮想マシン編)

AWS(Amazon Web Services)の基本要素やコンセプトを、初歩から学びながら、ハンズオン(実操作)を通してクラウドにおけるリソースの調達や基本設定の方法を習得できます。
EC2をはじめとしたAWSの各種サービスをハンズオンで実体験することで、AWSの基礎的な知識を理解し、操作スキルの習得を目指すトレーニング内容です。

受講のメリット

1. 自己学習よりも短時間で学ぶことができます。
2. 正しいインフラ構築を実際に手を動かしながら技術を身につけることができます。
3. 操作手順書(350ページ以上)をお渡ししますのでトレーニング後も安心して構築することができます。

※操作手順書は仮想マシン編、Webインフラ編共に同じものをお渡しいたします。

商品コード:ZDX-DXPRACAWSSTEP1

- 授業料 :個別相談
- 受講形式 :集合研修(オンラインも対応可)
1日(10時~12時、13時~17時※昼休憩60分間)
※希望日を確認して別途調整いたします
※集合研修の場合、別途交通費が掛かる場合がございます
- 人数条件:最少催行人数 6名、最大人数 10名
- 対象者 :これからAWSを使い始める方
AWSサービスの概要を学びたい方



講座内容

【座学&ハンズオン】

- 1.AWSの基本概念
- 2.マネジメントコンソールの使い方
3. AWSアカウントをつくってみよう
- 4.ネットワークを作ってみよう
- 5.仮想サーバーをつくってみよう
- 6.バックアップと監視の仕組みをつくってみよう
- 7.その他のAWSサービスのご紹介
8. AWSにおけるセキュリティについて

さわって理解するAWSハンズオン基礎講座(Webインフラ編)

AWS(Amazon Web Services)のロードバランサーやWAFといったネットワークインフラスラクチャについて、座学で基礎知識を学び、各サービスをハンズオンで実際に操作することで、実践的な知識と技術を習得できるトレーニング内容です。

受講のメリット

1. 自己学習よりも短時間で学ぶことができます。
2. AWSのよりクラウドネイティブなサービスの知識・技術を身につけることができます。
3. 操作手順書(350ページ以上)をお渡ししますのでトレーニング後も安心して構築することができます。
※操作手順書は仮想マシン編、Webインフラ編共に同じものをお渡しいたします。



商品コード:ZDX-DXPRACAWSSTEP2

- 授業料 :個別相談
- 受講形式 :集合研修(オンラインも対応可)
1日(10時~12時、13時~17時※昼休憩60分間)
※希望日を確認して別途調整いたします
※集合研修の場合、別途交通費が掛かる場合がございます
- 人数条件:最少催行人数 6名、最大人数 10名
- 対象者 :AWSサービスの概要を学びたい方
Webサーバーのセキュリティや可用性を向上させたい方

講座内容

【座学&ハンズオン】

- 1.ロードバランサーを作ってみよう
- 2.URL監視を作ってみよう
- 3.CloudFrontを作ってみよう
- 4.WAFを作ってみよう
- 5.Auto Scalingを作ってみよう

改定履歴

2024年7月31日

・サービスリリース



ダイワボウ情報システム株式会社